



友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 第 28 号
(2018年8月1日発行)
発行責任者：近藤 三千代
編集人：阿部 亜紀

私たちの教育施設「友愛の丘」を利用しよう！

「友愛の丘」は、本部研修の利用だけではなくありません。UAゼンセン都道府県支部、各組合の研修会、執行委員会などの諸会議、レクリエーション活動など、様々な用途で利用できます。定期大会にも利用いただいている組合もあります。加盟組合の利用状況は、この1年の間で、38の組合に利用いただいています。

友愛の丘は、私たちの先輩たちのカンパによって建てられた施設であり、私たちの施設です。研修目的でなく、組合員のプライベート旅行にも利用いただけます。夏休みは、子供さんとの自然体験、自由研究の場としてもオススメです。組合員のみならず、ぜひご活用ください。



定期大会や委員会、レクリエーションなど、どんな組合行事にも対応できます。
ぜひとも、友愛の丘での開催をご検討ください。

利用紹介

大阪府支部
ヤングリーブス

委員会でドミノに挑戦

7月14日(土)15(日)に、大阪府支部ヤングリーブスのメンバーが、第4回委員会を開催しました。会議は、レクリエーションの基礎習得も目的の1つ。今回はドミノ作りにチャレンジしました。2班に分かれテーマを決め、どういったドミノを作成していくのか考え、3時間での作成でした。両班ともに、真剣でユニークな発想で行っていました。ドミノは、1つでも倒れてしまうと、他も倒れてしまうので、慎重に行っていたのが印象的です。ドミノを通じて、チームワーク、役割分担の大切さを改めて学べたようです。

友愛の丘では、会議もできるし、レクもできます。必要な器材の貸し出しも行っています。できる限り要望に応じて行けるよう、友愛の丘も尽力していきます。



ドミノと同じポーズも豪快！



委員長の奥様へ愛をこめて

多くの組合員が友愛の丘を訪れてくれることを、
友愛の丘職員一同お待ちしております。



厳かな空気の中 今後益々の発展を祈念する友愛の丘職員

今年も、7月31日「友愛神社大祭」の日がやってきました。毎年、全織同盟創立記念日に執り行い、研修が安全で安心に進むように願っています。

42年前の友愛の丘建設当時、大国主命（おおくにぬしのみこと）が祀られている祠（ほこら）が見つかり、以来、センターの守り神「友愛神社」としてお祀りしています。

大国主命は出雲大社の祭神であり、縁結びの神様とも言われています。友愛の丘に全国各地から集う仲間たちが、より素晴らしく、より多くの縁が生まれるよう願っています。

友愛の丘 歳時記 友愛の丘名物「梅干し」ができるまで

友愛の丘名物「梅干し」は、友愛の丘本館の南側にある梅林から実を収穫しています。その実を、漬けて、干して、漬け込む。この一連の作業を、全てセンター職員の手作業で行っています。100%自家製です。

友愛の丘の梅干しは、昔ながらの塩辛く、酸っぱいのが特徴です。この梅干し、食欲をそそり、疲労回復に効果的で、夏バテ知らず。この暑い時季こそピッタリです。友愛の丘名物「梅干し」ができるまでのプロセスを、写真で紹介します。

- ①  2月上旬 つぼみがぷっくりと
- ②  3月中旬 梅が開花
- ③  4月 花が落ち実がなる
- ④  5月上旬
・大きくなった実を収穫し選別
- ⑤  7月上旬 手もみした赤しそを入れてつける
・梅を塩漬け
- ⑥  7月下旬 漬けた梅を天日干し
- ⑦  9月中旬 定期大会には新物を販売します

六月七日（木）友愛の丘教育部門の勉強会で、兵庫県神戸市にある賀川記念館を訪ねました。

賀川豊彦（1888～1960）

賀川豊彦は、キリスト教伝道者・社会運動家です。私たちのルーツである「友愛会」や「総同盟」でも活躍していました。

自叙伝的小説、「死線を越えて」は、数ある書籍の中でも賀川豊彦を一躍有名にした作品です。印税のほとんどを社会運動に投じたこともあり、世界的に知名度が高く、ノーベル平和賞候補にもなった人です。労働者の生活の安定を目的に、神戸購買組合（現・コープこうべ）を設立し、生活協同組合運動にも取り組みました。

*コープこうべは加盟組合



賀川記念館を見学
——一人は万人のために、万人は一人のために——

熱心に見学するトレーナー



編集後記 7月上旬の西日本豪雨は、本当に怖かったです。友愛の丘も、「孔子廟」へ続く道が土砂により不通となっています。自然災害が増加している今、どの場所でも「ここは大丈夫」ということはない気がします。日頃より備えをしていく必要性を感じました。（犬四郎）